



ピースワラベ・ジャパンは子どもたちが紛争や貧困などの脅威にさらされることなく希望に満ち、尊厳を持って生きる世界を目指します。未来を担う子どもたちが政治的・経済的理由で夢を諦めることなく、自らの力で未来を切り拓きより良い社会の担い手となるよう後押しします。

ピースワラベ・サポーターになりませんか？

この事業はみなさまのご寄付によって支えられています。
2018年のサマーキャンプでは様々な社会的・経済的背景を抱える
6名の国内外の子どもたちを招待しました。

ご支援の方法

♥ ふるさと納税をする

愛媛県上島町にふるさと納税（寄付）をしていただくことで、事業を支援していただけます。寄付額のうち2000円を除いた額が皆さまの所得税や住民税から差し引かれ（※手続きが必要です）、さらにPWJからお礼の品をお届けします。「寄附金の使い道を選択」画面で【特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン】を指定してください。



♥ 会員になる

毎月3,000円（1日約100円）を1年つづけると、子ども1人がサマーキャンプに参加できます。



♥ 今回のみ寄付をする

ピースウィンズ・ジャパンへのご寄付は、寄付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けられます。
＜郵便振込＞口座番号：00160-3-179641
振込先：特定非営利活動法人ピースウィンズジャパン
※通信欄に「国内外の子どもの教育支援事業」とご記入ください。



♥ ブックオフ（リサイクル本・CDを寄付する）

不要になった本・CD・DVD・ゲームソフトをブックオフコーポレーション株式会社が買い取り、その買取金がPWJに直接寄付されるシステムです。



♥ 活動を広める

この活動を支援したいと思ったら、フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用して、ご友人やお知り合いに伝えてください。



ピースウィンズ・ジュニア・グローバルシチズン・サマーキャンプ2018 活動レポート



4か国から17名の子どもたちが参加しました

みなさまのご支援とご協力により、ピースウィンズ・ジュニアグローバル・シチズン・サマーキャンプ2018を無事に終了することができました。

開催概要

- 開催日程
2018年7月24日（火）～7月30日（月）
- 開催場所
広島県神石高原町、愛媛県上島町
- 参加者
16名（韓国、シリア、アメリカ、日本）
- 主催
特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

ピースウィンズ・ジュニア・グローバルシチズン・サマーキャンプは2018年7月24日～30日の日程で、緑豊かな山間部の広島県神石高原町と、美しい空が広がる瀬戸内海の島しょ部の愛媛県上島町で開催されました。初開催となるキャンプには韓国、シリア、アメリカ、日本の4か国から17名の子どもたちが参加し、家族のような絆で結ばれた仲間とともに過ごしました。子どもたちはコミュニケーションスキルを伸ばし、学習マナーを学び、将来の勉強に役立つだけではなく、世界を変える未来のソーシャルイノベーターとなるための最新の知見を学びました。これらは、キャンプを企画する際にピースウィンズ・ジャパンが設定していた目標であり、参加者の成長は私たちの期待以上でした。キャンプの目的は、若い世代（12歳から17歳）が世界に関する疑問について考える

きっかけを提供することでした。相互理解と学びに強い意欲を持つ同世代の仲間とともに過ごし、経験豊富なインストラクターや著名なゲストスピーカーの指導の下、参加者はともに学び、探求し、自分の経験やストーリーを共有しながら、仲間とともに世界が直面する課題の解決策を見出しました。こうした過程を通して、困難を乗り越える強さを身に付け、優れた問題解決能力や学習・創造する意欲を高めました。

1週間のキャンプでは、人類と地球、また人間同士の関係を共通のテーマとして学習しました。キャンプ前半の3日は山間部で過ごし、後半は弓削島、佐島、生名島の沿岸地域で過ごしました。

参加者は、講義や、食事作り、野外活動や、屋内学習など連日グループワークとアクティビティに取り組みました。



山

Day1: 7月24日(火)

到着／オリエンテーション／講義：世界の課題／チームビルディングゲーム

Day2: 7月25日(水)

講義：基本的人権／リーダーシップトレーニングと課題解決ゲーム／ウォータースライド／講義：持続可能な開発／人間図書館

Day3: 7月26日(木)

講義：より良い世界をつくらう／グループプロジェクト／ピースワンコ施設見学／ゲストスピーカーによる講演：動物と人間の共生／アイスクリーム作り／巻きずし作り

海

Day4: 7月27日(金)

神石高原町から上島町へ移動／ヨットクルーズ・海岸清掃／肝試し

Day5: 7月28日(土)

グループプロジェクト／弓削高校との国際交流会／流しそうめん

Day6: 7月29日(日)

ゲストスピーカーによる講演：デジタル世界のコミュニケーション／グループプロジェクト発表／フェアウェルディナー

7月30日(月)

解散

DAY 1

バスで神石高原ティアガルテン到着後、参加者は地元の食材を使用した健康的なランチを食べた後、自己紹介を兼ねたアイスブレイカーに参加しました。続いて、オリエンテーションと全体的なプログラムの説明が行われました。

その後、ピースウィンズ・グローバルシチズンスクール校長代理であり、PWJの顧問も務めるロバート.D.エルドリッジ博士 (Robert D. Eldridge, Ph.D.) が、貧困、戦争、災害、不平等、環境破壊など、私たちが直面している多くの課題について「世界の課題」と題した講演を行いました。そして、世界に変革をもたらすソーシャルイノベーターとなるよう参加者に呼びかけました。その後、香港の講師、フローラ・チュー (Flora Chu) 氏によってチームビルディングのセッションが行われました。夕方にはバーベキューディナーを楽しみながら、午後のセッションについてのディスカッションを続け、互いの親睦を深めました。



ロバート.D.エルドリッジ博士による講演

DAY 2

朝食後、もう1名の香港の講師であるアリソン・ソー (Allison So) 氏による人権に関する講演が行われ、参加者は特に性による不平等と教育を受けることができない人々に対して高い関心を示しました。午後のセッションでは、生態系に人間がどのように悪い影響を及ぼすのか、そしてそれを正すことができるのかについて講演が続きしました。この日の夕食に先立ち、参加者は「ヒューマンライブラリ」と呼ばれる自叙本を作成しました。キャンプの残りの期間を利用して他の参加者の本を読み、本の最後にお互いにコメントを書き入れました。

同様に、キャンプ後半に、彼らが最も関心を寄せる問題と、将来の夢についてピ



アリソン・ソー氏による人権に関する講演

デオインタビューを行いました。参加者は、人権や教育、男女の平等、環境問題などに関心を寄せました。また、外国語を話せるようになって世界の人とつながりたいという夢や、科学者になって世界をより良い場所にしたい、ライターになって世界の課題を解決できる人になりたいという夢を語ってくれました。

DAY 3

朝食後、参加者は世界をより良い場所にする方法についてディスカッションを行い、続いてグループプロジェクトを行いました。午後には、殺処分される犬を引き取り、新たな飼い主に譲渡したり、セラピー犬、災害救助犬などを育成したりする先進的な取り組みを行っているピースワンコ・ジャパンを訪問しました。施設管理者の話聞いた後、犬舎の見学を行いました。この日の午後には、相馬牧場の経営者である相馬行胤氏による、動物のことを第一に考えた牧場経営について



自分で作った巻き寿司を手に笑顔の参加者

講演が行われました。参加者は、食欲さと利益の追求が環境と我々自身にとって、取り返しのつかない損害をもたらすことを学びました。参加者は、アイスクリーム製造機を動かして手作りのアイスクリームを作りました。夕食には、日本の巻き寿司作りを体験し、みんなで食べました。

DAY 4

朝食後、バスとフェリーで上島町に移動した後、より良い世界をつくるためのグループプロジェクトを行いました。この時点で、参加者は複数の国籍を持つ4つの小グループに分かれており、ディスカッションを国際的かつ学際的に行うことができました。午後に参加者は近くのビーチに行き、海岸清掃を行い、サンセットクルーズを楽しみました。



松原海岸で清掃活動を行った



「奚琴(けいぎん)」を演奏する韓国の参加者



流しそうめんを楽しむ参加者と地元の中・高校生

DAY 5

参加者は引き続きグループプロジェクトに取り組み、リサーチとディスカッションを行いました。午後には、地元の中・高校生との交流のため、愛媛県立弓削高等学校に行きました。国際交流活動では、ゲームを通じて信頼関係とチームワークを高めました。エルドリッジ博士は次に、交友関係と文通友達(ペンパル)について話をし、準備したサンプルフォーマットを使ってお互いに自己紹介する手紙を書きました。手紙を書き終えた後、参加者と島の生徒は手紙を交換しました。その後、日本と韓国からの参加者2人が、感謝の気持ちを込めて演奏を披露しました。韓国の参加者は「奚琴(けいぎん)」と呼ばれる伝統的な楽器を演奏し、穏やかな音色を奏でました。この後、生徒たちと参加者は校庭に集まり、伝統的な日本の流しそうめんを楽しみました。誰もが楽しい夕べを過ごしました。

DAY 6

この日は、台風12号の影響でキャンプ期間中初めての悪天候に見舞われました。幸いなことに、午前中に少し雨が降りましたが、午後には天気が回復し、被害もありませんでした。午前中にBuzzfeed Japanの創刊編集長であるゲストスピーカーの古田大輔氏による「デジタルワールドにおけるコミュニケーション」についての講演が行われました。同氏は、偽のニュースや誤解を招くようなニュースに対して、書面やコミュニケーションにおける正確さとニューメディアの役割の重要性を強調しました。そして、未来の世界がどうなるかは分からないけれども、参加者に未来を作るよう語りかけました。午後には、グループプロジェクトの発表が行われました。上島町教育委員会の濱田和保氏がプレゼンテーションに出席し、町長の代わりに短いスピーチを行いました。夜には、フェアウェルディナーのため、せとうち交流館に移動し、その日彼らが泊まるホームステイ先の家族と合流しました。1週間のキャンプを振り返るビデオが上演され、各参加者に終了証が手渡されました。感動的な式典となりました。



グループプロジェクト発表の様子



地元の方も参加して行われたフェアウェルディナー



世界をより良い場所にする方法を真剣に考える



アイスクリーム製造機を動かす参加者